

第37回「新伊東一族の豊後落ちの道を歩こう会」

～伊東三位入道義祐が大友宗麟を頼り歩いた道～

伊東家は、西都市の都於郡城を242年も居城とし、一時は48の出城を持ち、ほぼ日向全域を支配していた。しかし、今から444年前の1,572年に木崎原の合戦で島津氏に敗れてから5年後、都於郡城と佐土原城を捨て、遠縁にあたる大友宗麟を頼って落ちていくのである。そのとき、義祐は65歳、女、子どもを含めた一行は100名ぐらいであった。その中には、日本史に名を残した伊東マンショ（当時8歳）がいた。

その歴史の道をみんなで歩いてみましょう！

【日 時】 平成28年1月24日（日）（雨天の場合は、31日に延期）

午前8時：集合（出発：午前8時30分～）

午後3時ぐらいに 猪汁の振舞いの後解散

【集合場所】 吐合；国道219号大椎葉トンネルより入る（岩井谷小学校跡）

途中のぼり等で案内します。（下図参照）

【参加費】 500円（中学生以上）（1月21日までにお申し込みの方は保険適用）

※ 尚、当日参加も可能ですが保険が適用になりませんので御了承下さい

【行 程】 食事の時間を除いて5時間ほどの行程になります。

【持参品】 弁当、水筒、手袋、帽子、軽登山靴もしくは運動靴、レジャーシート（昼食の際の敷物として）、その他必要と思われるもの。



【申込み先】 日高不二夫 TEL0983-42-3116

※申込み期限：平成28年1月21日（木）

【主 催】 都於郡城跡顕彰会

【支 援】 尾八重地区活性化推進委員会

集合場所

